

日本爬虫両棲類学会 第49回大会プログラム

The 49th Annual Meeting of
the Herpetological Society of Japan



慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎
2010年10月9日(土)～10月10日(日) 横浜

日本爬虫両棲類学会 第49回大会

日程：	2010年10月9日(土)		10月10日(日)	
	受付	09:00～	受付	09:00～
	開会式	09:55～10:00	口頭発表	09:30～11:00
	シンポジウム	10:00～12:30	ポスター発表	11:00～12:30
	昼食		写真撮影, 昼食	
	ポスター発表	13:15～14:45	総会	13:30～14:30
	口頭発表	14:45～17:45	口頭発表	14:30～15:45
	懇親会	18:00～20:00	閉会式, 授賞式	15:50～15:55
			自由集会	16:00～18:00

会場：横浜市港北区日吉4-1-1 慶応大学日吉キャンパス来往舎 <http://www.hc.keio.ac.jp/index-jp.html>

会費：大会参加費3,500円, 懇親会費4,500円

受付・クローク：

- ◇ 受付開始は、10月9日(土)・10日(日)ともに、9時からです。
- ◇ 事前に参加申し込みをされている方は、受付で名札等をお受け取り下さい。
- ◇ クロークは、9日(土)は9時から18時00分まで、10日(日)は9時から16時30分までご利用いただけます。自由集会へ参加される方は荷物を受け取ってからご参加ください。

昼食：

- ◇ 9日(土)：14時まで生協食堂(隣の建物)が利用できます。
- ◇ 10日(日)：学内食堂は休業です。駅周辺のレストラン・コンビニエンスストア・デパート等をご利用下さい。会場から駅までは徒歩3分です。
- ◇ お茶・コーヒーなどは休憩室に準備します。また、飲み物の自動販売機は生協食堂にあります。

懇親会：10月9日(土) 18:00～20:00 生協食堂

- ◇ 大会会場の隣の建物が生協食堂です。講演終了後、すみやかにお集まりください。
- ◇ 事前に参加申し込みをされている方の名札にはシールが貼られていますので、ご確認下さい。
- ◇ 当日参加(4,500円)も受付けますので、9日(土)昼休みまでに受付にてお申し込み下さい。

総会：10月10日(日) A会場 13:30～14:30

記念写真：10月10日(土) 12:30～

- ◇ 10月10日(土)のポスター発表終了後すぐ、中庭にて行います。
- ◇ 写真は、会誌(和文誌)にも掲載されますので、写真を申し込まれていない方もお集まり下さい。

大会事務局：〒223-8521 慶応大学生物学教室内

日本爬虫両棲類学会第49回大会事務局

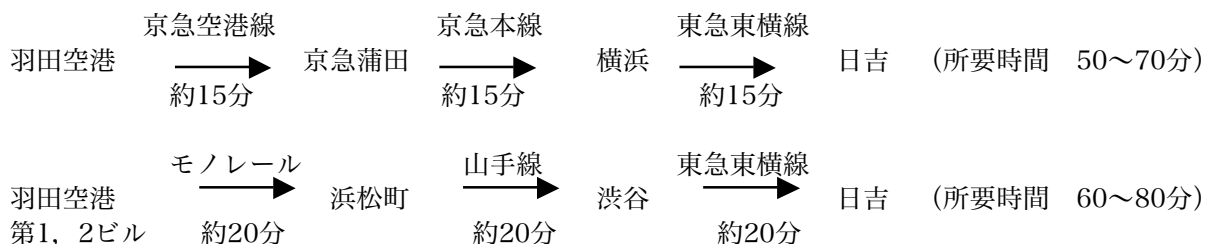
福山欣司 e-mail: fukuyama@hc.cc.keio.ac.jp

TEL：045-566-1293 FAX：045-566-1293

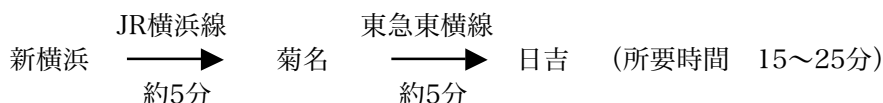
注意：開催日は電話に出ることはできません。連絡はなるべくメールでお願いします。

大会会場への交通（慶応大学日吉キャンパス来往舎 日吉駅下車3分）

◆羽田から（代表的なルートのみ）



◆新横浜（新幹線）から



日吉駅には、東急東横線の外、横浜市営地下鉄（グリーンライン）が乗り入れています。参加される方の最寄り駅から日吉駅までのルート検索は、以下の検索サイトをご利用になると便利です。

えきから時刻表 <http://www.ekikara.jp/top.htm>

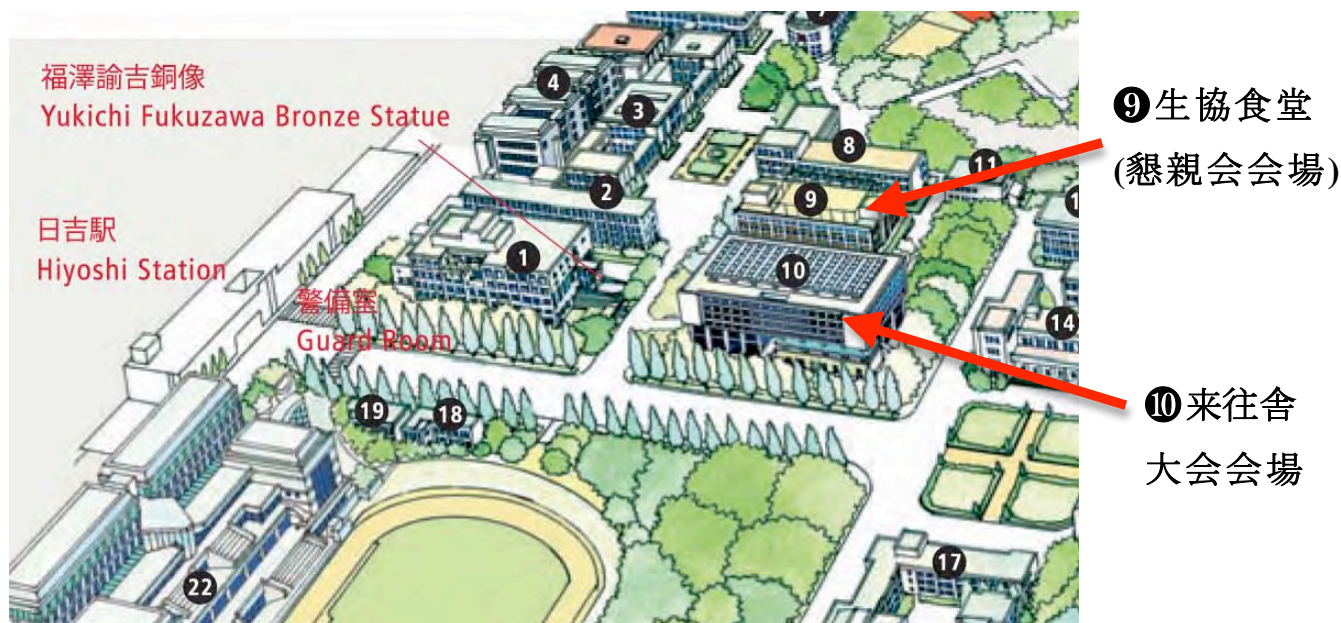
NAVITIME <http://www.navitime.co.jp/>

◆自動車・バイク

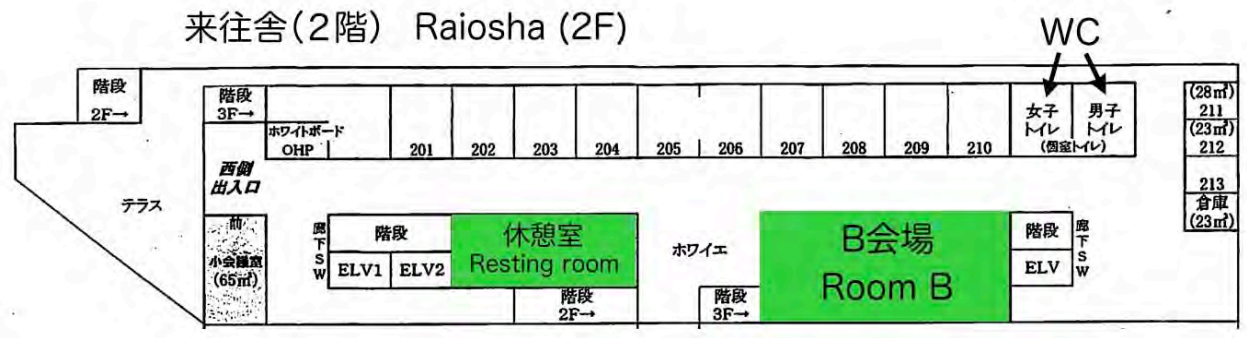
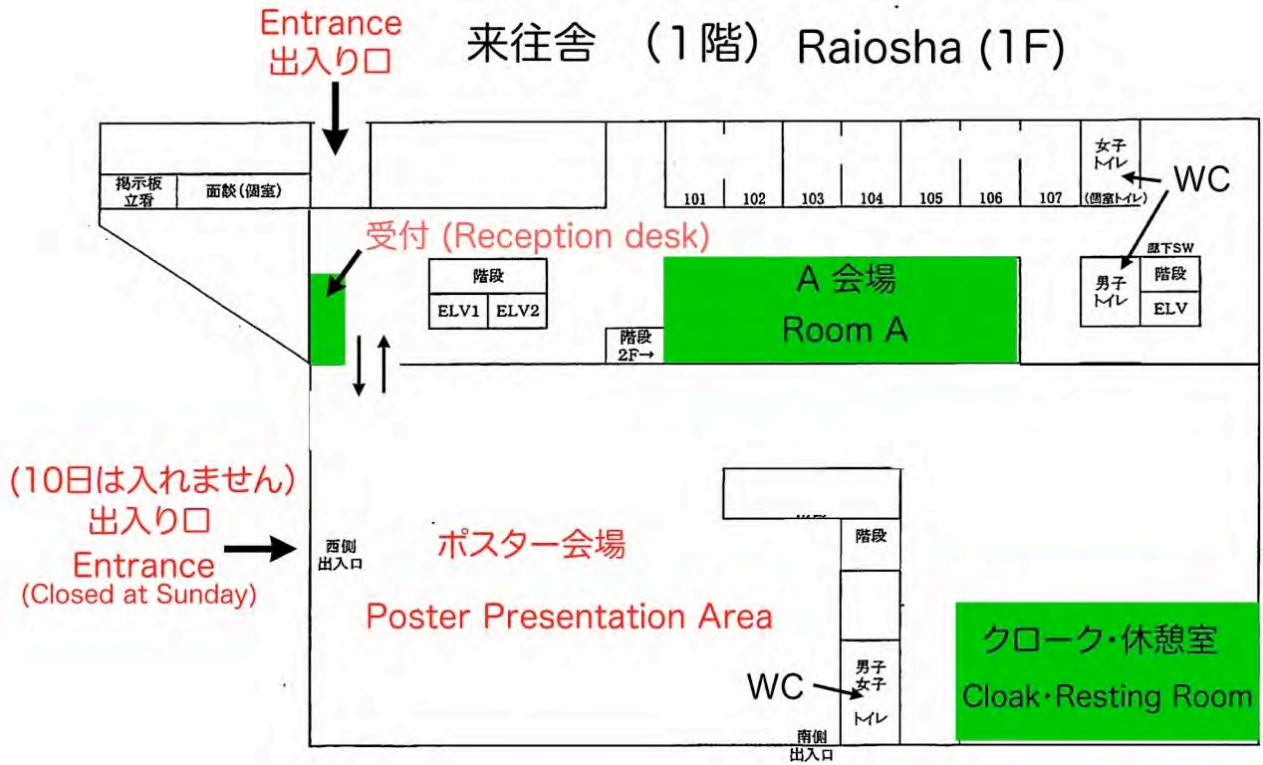
キャンパス内に駐車場はありません。車・バイクでの来場は固くお断りいたします。日吉駅併設の東急百貨店には駐車場がありますが、土日は混雑が予想されます。詳しくは下記のサイトをご覧ください。

<http://www.tokyu-dept.co.jp/hiyoshi/map/parking.html>

慶応大学日吉キャンパスマップ（会場周辺のみ）



会場案内



講演される方へ

口頭発表をされる方

◆時間

講演は1題につき発表時間12分、質疑応答が3分です。10分、12分、14分30秒に予鈴を鳴らします。PCプロジェクターのページ数に制限はありませんが、発表時間を厳守して下さい。

◆使用ソフト

Windows (7)を用意します。使用できるソフトはMicrosoft PowerPoint2007とAdobe (Acrobat) Readerのみです。なお個人のノートパソコンのプロジェクターへの接続はできません。あらかじめご了承下さい。

◆発表データ

当日は、発表用ファイルをCDにてご持参下さい。CDの不具合も予想されますので、万一に備えフラッシュメモリー等でもバックアップをご用意頂ければ幸いです。なお当日の受付は混雑が予想されますので、可能な方はCDの事前提出をお願いいたします。大会事務局まで郵送していただければ、事務局で作動の確認をした上で連絡を差し上げます。

◆データ入力

当日のデータ入力に関しては、「口頭発表データ受付」にコンピューターを用意いたしますので、各自指定されたフォルダにコピーし、作動を確認した上で、CDを受付にご提出下さい。10月9日(土)に発表される方は13時までには必ずCDを提出して下さい。10日(日)に発表される方は、9日(土)のポスター発表の時間を利用して下さい。それぞれ上記の時間に遅れると、最悪の場合、発表できない事態も考えられますので、くれぐれもご注意下さい。

◆注意事項

なお備え付けのコンピューターの使用は、ファイルのコピーとファイルのオープンの確認のみにとどめてください。受付での文字やレイアウトの変更は他の発表者の方々のご迷惑になりますので、かたくお断り申し上げます。文字化けやレイアウトのずれがないよう、システムに含まれるフォント (MSゴシック等) を使用すること、各スライドには余白を十分に取ること、アニメーションは入れずに製作することをお勧めいたします。特にPowerPointのバージョンが異なると、レイアウトが変わることがありますのでご注意下さい。上のバージョンをご使用でない方、ご心配な方は一度JPEG形式の画像ファイルで保存し、それを再度スライドとして作成する等の対応をお願い申し上げます。

ポスター発表される方

ポスター会場のパネルに講演番号を付けてありますので、所定の場所に貼って下さい。パネルに貼ることの出来るポスターの最大サイズは、幅80cm×高さ170cmです。これより大きいポスターはパネルからはみ出す恐れがあります。

10月9日(土)には奇数番号、10日(日)には偶数番号の発表者がポスター前でお立ち下さい。ただし、都合が悪い場合には奇数偶数にこだわらず、どちらにお立ちいただいてもかまいません。ポスターは、9日(土)の受付開始時からお貼りいただいて結構です。また、10日(日)の15時までに剥がして下さい。この時刻までに剥がされていないポスターは事務局で処分いたします。

ポスター賞に応募される方

ポスター賞にエントリーされている方の講演番号には(ポスター賞対象)という注意書きが書かれています。ご確認ください。また、事前にエントリーしていない方でも当日応募可能です。事務局にお申し出下さい。

講演要旨の提出

電子データでの提出をお願いします。詳細は次ページの和文誌編集委員会からのお知らせをご覧ください。

日本爬虫両棲類学会第49回大会 講演要旨の作成と提出に関する要項

◆はじめに

今大会の講演要旨は、2011年3月発行予定の爬虫両棲類学会報第2011巻第1号に掲載されることになっています。講演要旨を掲載するにあたっては、原稿の回収や編集が大きな負担となるため、次のような要項で講演要旨の電子データによる提出をお願いしております。今大会も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、どうしても電子データの提出が困難な場合は手書き原稿のみで結構です。

◆講演要旨作成について

口頭発表、ポスター発表とも講演要旨を作成して下さい。表題、発表者氏名、所属、英文表題、英文氏名、本文の順にお書き下さい。本文の字数は660字（22字 x 30行）以内、英文の場合は200 words以内です。パソコンやワープロの場合は、A4判用紙に読み取れる大きさの字で作成して下さい。レイアウトは爬虫両棲類学会報第2010巻第1号の学会大会講演要旨をご参照下さい。手書きの場合は400字詰め原稿用紙にお書き下さい。なお、爬虫両棲類学会報は和文を原則としているので、外国人の方が主発表者の場合でも、日本人の方が共同発表者に入っている場合は、和文の要旨をご用意ください。

◆電子データ提出について

1. メールをご利用になる方

10月9日10時までに講演要旨をメールの添付ファイルとしてお送り下さい。利用できるワープロソフトは、MSワード、またはMSワード互換ソフトです。他のソフトの場合も、MSワードで読み込める形式（拡張子 docまたはdocx）のファイルを作成して下さい。この場合、大会当日に印刷原稿をお持ちいただく必要はありません。MSワードで読み込める形式のファイルを作れない場合は、メールの本文に講演要旨を入れてください。ただし、その場合は、イタリック体や特殊文字が利用できませんので、それらを指示した印刷原稿を大会当日に受付に提出して下さい。

2. 添付するファイル名について

ファイル名は、必ず『講演番号-第1発表者氏名』としてください。講演番号は半角の大文字とし、ハイフン等は挿入しないでください。ただし、講演番号と第1発表者名の間には、半角の-を挿入して下さい。（例：P01-慶応太郎.doc）

講演要旨送り先アドレス：hsj49@ml.keio.jp

3. メールをご利用にならない方

大会当日に印刷原稿およびその電子データをご提出下さい。利用出来るワープロソフトはメールの場合と同じです。それらのソフトがない場合は、テキスト形式のデータをお願いします。電子データは、CD-R、CD-RWのいずれかに保存して下さい。特にご要望のない限り、媒体の返却は致しませんのでご了承下さい。提出はいずれも大会受付をお願いします。

注意：パソコンで表記出来ない漢字が含まれる場合は、表記可能な漢字に代替して頂くか、それが困難な場合は、印刷原稿に指定の漢字を朱書きしてご提出下さい。

◆手書き原稿のみを提出の場合

口頭発表、ポスター発表ともに、大会当日に受付へご提出下さい。

日本爬虫両棲類学会
和文誌編集委員会

公募シンポジウム

日本の両生類・爬虫類における生物多様性の現状と保全

A会場 10月9日(土) (10:00~12:30)

(座長：戸田光彦)

基調講演

松井正文 (京大・人間・環境)

「日本産両生類・爬虫類の生物多様性について」

S01

○高橋亮雄 (岡山理大・総合情報)・中村泰之 (琉球大・熱生研)・池田忠広 (人博)・
太田英利 (兵庫県立大・自然研)

「化石や遺骸残留物が示す第四紀の琉球列島における爬虫・両生類の種組成の変動」

S02

○江頭幸士郎・松井正文 (京大・人間・環境)

「多様性評価における隠蔽種の存在 -タゴガエルを例に」

S03

長谷川巖 (福井両爬研)

「地域住民と協働で進める絶滅危惧種 Ia 類アベサンショウウオの保全活動」

S04

○鈴木大 (京大・院理・動物)・太田英利 (兵庫県立大・自然研)・呉弘植 (済州国立大・
科学教育)・疋田努 (京大・院理・動物)

「遺伝的変異に基づくクサガメ日本個体群の起源の推定」

総合討論

自由集会

A会場 10月10日(日) 16:00~18:00

外来化した爬虫両生類の例

千石正一(自然研)

口頭発表 A会場 10月9日(土)

(座長：西川完途)

- 1A01 14:45～15:00 松井正文・○倉石典広(京大・人間・環境)・富永篤(琉大・教育)
「最近 *Babina* 属とされるカエル類の分子系統学的関係」
- 1A02 15:00～15:15 ○アミール=ハミディ・松井正文(京大・人間・環境)
「ボルネオ産のウデナガガエル属について」
- 1A03 15:15～15:30 ○松井正文・西川完途(京大・人間・環境)・ノリヤティ=アハマド・ダイクス=ベ
ラブー(マレー国立大)
「マレー半島産チョボグチガエル属について」
- 1A04 15:30～15:45 ○尾形光昭(横浜市繁殖センター)・関谷國男(新潟市)・三浦郁夫(広島大・院理・
両生類研)』
「佐渡島産ツチガエルの外部形態について」
- 1A05 15:45～16:00 ○小巻翔平・倉林敦・Mohammed Mafizul Islam・住田正幸(広島大・院理・両生類研)・
東城幸治(信州大・理・生物)
「中部日本のトノサマガエル種群の交雑帯における遺伝子浸透」
- 1A06 16:00～16:15 ○長井悠佳里(広島大・院理・両生類)・土井敏男(神戸市環境評価共生推進室)・湯
浅義明(姫路市立水族館)・藤谷武史(東山動物園)・伊藤邦夫(川崎医科大附属高校)・小泉雄紀・
三浦郁夫(広島大・院理・両生類)
「ナゴヤダルマガエルの遺伝的地域分化ーとくに岡山集団と名古屋集団が接する境界領域について
ー」
- 1A07 16:15～16:30 ○小林聡・阿部聖哉・松木吏弓(電中研・環境・生物)
「印旛沼西岸地域におけるニホンアカガエルの分布と mtDNA の遺伝的多様性」

16:30～16:45 休憩

(座長：岩井紀子)

- 1A08 16:45～17:00 ○米島諒・中村浩二・カリナ=インドラスワリ(金沢大・理・生態)
「金沢市の棚田復元地におけるカエル類の種類相および個体数の季節変化」
- 1A09 17:00～17:15 ○見澤康充(建設環境研究所)・松井正文(京大・人間・環境)
「東京都八王子の小溪流におけるカエル類の生息状況」
- 1A10 17:15～17:30 ○島田知彦・大西信弘・今村彰生(京学大・バイオ環境)
「水田に生息する5種のカエルの幼生フェノロジー」
- 1A11 17:30～17:45 ○光岡佳納子・戸田光彦・高橋洋生・谷村就盛(自然研)・小賀野大一(市原高)・小
林頼太(東大・農・生物多様性)
「利根川下流域における外来生物アフリカツメガエルの生息状況」

18:00～20:00 懇親会(生協食堂)

口頭発表 B会場 10月9日(土)

(座長：小林頼太)

- 1B01 14:45～15:00 ○岡本慶(東大・農・生圏)・亀崎直樹(須磨水/東大・農・生圏)
「日本沿岸におけるアオウミガメとクロウミガメの形態比較」
- 1B02 15:00～15:15 ○石原孝(東大・農・生圏)・亀崎直樹(須磨水/東大・農・生圏)
「ウミガメ類に確認された処女膜の変化」
- 1B03 15:15～15:30 ○多田哲子・坂雅宏(京都府保環研)
「ウミガメと淡水ガメにおける微量元素蓄積特性の比較」
- 1B04 15:30～15:45 ○亀崎直樹・谷口真理(須磨水)
「市民によって収容されたアカミミガメの分析」
- 1B05 15:45～16:00 ○谷口真理・亀崎直樹(須磨水)
「西日本におけるミシシippアカミミガメ(*Trachemys scripta elegans*)の高密度生息域」

16:00～16:15 休憩

(座長：森口一)

- 1B06 16:15～16:30 ○森哲(京大・理・動物)・戸田守(琉大・熱生研)
「沖縄島北部におけるヒメハブの活動体温と選好体温」
- 1B07 16:30～16:45 ○岸田拓士・疋田努(京大・院理)
「ヘビ類の嗅覚受容体遺伝子の分子進化学的解析」
- 1B08 16:45～17:00 ○鳥羽通久・橋元浩一(日本蛇族学術研究所)
「日本産ナメラ属3種のヘミペニスの形態」
- 1B09 17:00～17:15 ○太田英利(兵庫県立大・自然研)・向高世(中国文化大・景観)・呉書平(台北市立教育大・自然科学系)・池田忠広(人博)
「台湾産ヒバカリ属の1種について」
- 1B10 17:15～17:30 田中幸治(京大・理・動物)
「屋久島産シマヘビの体サイズにおける表現型の可塑性」
- 1B11 17:30～17:45 ○山崎陽平・森貴久(帝京科学大・理工・アニマルサイエンス)
「3年間の野外調査に基づく、タカチホヘビの出現量の変化とその要因」

18:00～20:00 懇親会(生協食堂)

口頭発表 A会場 10月10日（日）

（座長：伊原禎雄）

- 2A01 09:30～09:45 ○西川完途・松井正文・吉川夏彦（京大・人間・環境）・富永篤（琉球大・教育）・島田知彦（京都学園大・バイオ環境）・ポール＝ヤンブン（サバ公園）・アハマド＝スディン（サバ大）・ノリヤティ＝アハマド（マレー国立大）・アミル＝ハミディ（京大・人間・環境）・ニコライ＝オルノフ（ロシア科学院）
「東南アジア産ヌメアシナシイモリ科の分子系統関係」
- 2A02 09:45～10:00 ○吉川夏彦・松井正文・西川完途（京大・人間・環境）
「京都賀茂川産チュウゴクオオサンショウウオの現状（II）」
- 2A03 10:00～10:15 ○松木崇司・松井正文（京大・人間・環境）
「カスミサンショウウオの一個体群における個体群統計学的研究」
- 2A04 10:15～10:30 ○青木玄・松井正文・西川完途（京大・人間・環境）・田邊真吾（京都市）・大川博志（呉市）
「ミトコンドリア DNA に基づくカスミサンショウウオの遺伝的変異」
- 2A05 10:30～10:45 ○秋山繁治（清心女子高）・小泉雄紀・三浦郁夫（広大・院理・両生類研）
「アカハライモリの秋から春をまたぐ多重交配について - 両季節の精子が受精に利用されている遺伝学的証拠 -」
- 2A06 10:45～11:00 ○荒井寛・多田諭・橋本浩史・金原功・杉野隆・佐藤薫・小木曾正造・小見亮介・堀田桃子（葛西臨海水族園）、中村浩司・児玉雅章（井の頭自然文化園）・小川裕子（多摩動物公園）
「東京都多摩丘陵でのイモリの域内保全 - 繁殖場造成と個体群の回復」
- 11:00～12:30 ポスター発表（イベントテラス）
12:30～13:30 写真撮影，昼食
13:30～14:30 総会
- （座長：田中一上野寛子）
- 2A07 14:30～14:45 北本光・佐々木健（広島国際学院大・工・バイオリサイクル）・○三浦郁夫（広島大・院理・両生類研）
「オタマジヤクシの性を色で見分ける - 山口県産ツチガエルの性に連鎖した色彩変異遺伝子の同定 -」
- 2A08 14:45～15:00 武石全慈（北九州市立自然史・歴史博物館）
「福岡県北九州市において高頻度で見られたツチガエルの四肢異常について」
- 2A09 15:00～15:15 ○坂雅宏・多田哲子（京都府保環研）
「ネッタイツメガエル幼生に対する水田除草剤シメトリンの慢性毒性」
- 2A10 15:15～15:30 疋田努（京都大・院理・動物）
「本草綱目啓蒙の両生類」
- 2A11 15:30～15:45 張東君（台北動物園基金会）
「国際カエル年から生物多様性年に向け，台湾の両棲類爬虫類出版物紹介」
- 15:50～15:55 閉会式・ポスター賞授賞式

口頭発表 B会場 10月10日(日)

(座長：太田英利)

- 2B01 09:30～09:45 戸田守(琉大・熱生研)
「東アジア島嶼域におけるヤモリ属の種間交雑」
- 2B02 09:45～10:00 ○栗田隆気(琉大院・理工)・太田英利(兵庫県立大・自然・環境研)・戸田守(琉大・熱生研)
「琉球列島に分布する住家性ヤモリ類の起源に関する研究」
- 2B03 10:00～10:15 Aaron M. Bauer (Villanova Univ.)
「The evolution of the adhesive system of Geckos」
- 2B04 10:15～10:30 ○Nontivich Tandavanitj (Grad. Sch. Eng. Sci., Univ. Ryukyus), Hidetoshi Ota (Inst. Nat. Enviro. Sci. & Mus. Nat. Human Act., Univ. Hyogo), and Mamoru Toda (Trop. Biosphere Res. Cent., Univ. Ryukyu)
「Genetic variations in two laticaudine sea snakes, *Laticauda laticaudata* and *Laticauda semifasciata* (Elapidae: Laticaudinae), in the Ryukyu Archipelago」
- 2B05 10:30～10:45 ○Karlina Indraswari (Lab. Ecol., Sci. Kanazawa Univ.), D. T. Iskandar (Institut Teknologi Bandung), D. P. Bickford (Natl. Univ. Singapore), B. A. Rahmayuningtyas, A. Rachmansah, Umilaela (Institut Teknologi Bandung), M. Kamsi (Universitas Medan Area), S. Howard (Natl. Univ. Singapore).
「Reptile diversity at the northern Border of Bukit Baka-Bukit Raya National Park, Schwanner Mts, Kalimantan, Indonesia」
- 2B06 10:45～11:00 ○中村泰之(琉球大・熱生研)・高橋亮雄(岡山理大・総合情報)・太田英利(兵庫県大・自然研)
「遺骸が示す与論島における両生・爬虫類個体群の近年の消滅について」

11:00～12:30 ポスター発表(イベントテラス)

12:30～13:30 写真撮影, 昼食

13:30～14:30 総会

(座長：竹中踐)

- 2B07 14:30～14:45 ○菊川信人・疋田努(京大・院理・動物)
「台湾産カナヘビ属の頭骨における形態学的多様性と進化」
- 2B08 14:45～15:00 ○小泉有希・疋田努(京大・院理・動物)
「南琉球におけるサキシマスベトカゲの遺伝的変異」
- 2B09 15:00～15:15 ○栗田和紀・疋田努(京大・理・動物)
「オキナワトカゲの遺伝的変異」
- 2B10 15:15～15:30 ○栗山武夫(東邦大・理)・岡本卓(国環研)・長谷川雅美(東邦大・理)・五箇公一(国環研)
「八丈島におけるニホントカゲ外来個体群のオカダトカゲ在来個体群への影響」
- 2B11 15:30～15:45 ○岡本卓(環境研)・栗山武夫(東邦大・理)・五箇公一(環境研)
「八丈島の外来性爬虫両生類の現状」

15:50～15:55 閉会式・ポスター賞授賞式 A会場

ポスター発表 (ポスター会場)

10月9日(土) 13:15~14:45 および 10日(日) 11:00~12:30

原則として、奇数番号の発表は9日(土)、偶数番号の発表は10日(日)

- P01 ○Hae-jun Baek, Mu-yeong Lee, Hang Lee, Mi-Sook Min (Conserv. Genome Resource Bank for Korean Wildlife (CGRB), Res. Inst. Vet. Sci., Col. Vet. Med., Seoul Natl. Univ.)
「Genetic diversity of the genus *Hynobius* in South Korea, using mitochondrial DNA」
- P02 Junghwa An, Hae-Jun Baek, Eugene Chung (CGRB, Res. Instit. Vet. Sci., Col. Vet. Medi., Seoul Natil. Univ.), Nikolay A. Poyarkov. Jr (Lomonosou Moscow State University Biological Faculty, Department of Vertebrate Zoology, Russia), Kyung-Seok Kim, Hang Lee, ○Mi-Sook Min (Conservation Genome Resource Bank for Korean Wildlife (CGRB, Res. Inst. Vet. Sci., Col. Vet. Med., Seoul Natl. Univ.)
「Population genetic studies of Korean clawed salamanders using microsatellite loci and cross-amplification in Russian and Chinese population」
- P03 ○Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.), Jung-Hyun Lee, Il-Hoon Kim (Dept. Biol. Sci., Kangwon Natl. Univ.)
「Effects of Arginine Vasotocin on the Courtship Behavior of *Hynobius leechii* (Amphibia: Hynobiidae)」
- P04 ○照井滋晴 (環境把握推進ネットワーク)・竹中悠 (道教大釧路・生物)・野原精一 (国立環境研究所)
「釧路湿原及びその周辺域に生息するサンショウウオ類の繁殖水域における水質特性」
- P05 太田宏 (東北大・生命・生態システム)
「トウホクサンショウウオは産まれた池に戻って繁殖するのか？」
- P06 ○天白牧夫 (日大・院・生物資源)・金田正人 (三浦半島自然誌研究会)・大澤啓志 (日大・生物資源)・勝野武彦 (日大・生物資源)
「成因の異なる流水域におけるトウキョウサンショウウオの産卵状況および卵囊流失割合」
- P07 草野保 (首都大・理工・生命科学)
「トウキョウサンショウウオの成体の個体群性比」
- P08 ○藤田宏之・石井克彦 (川の博物館)
「埼玉県寄居町におけるトウキョウサンショウウオの捕食被害例」
- P09 ○水戸直・齊藤修 (長浜バイオ大・バイオサイエンス・動物分子生物)
「滋賀県長浜市に生息するカスミサンショウウオの生態調査と遺伝的系統解析」
- P10 鶏内博之 (福山市・新市中央中)
「福山市近辺のカスミサンショウウオの生息状況と卵囊の異変 (孵化しない卵) と水質等の関係白色型カスミサンショウウオと黒色型(通常型)の飼育実験」
- P11 ○田上正隆・堀江俊介・堀江真子 (岐阜県水族館)
「コガタブチサンショウウオの飼育下繁殖の試み」
- P12 ○奥平智博・森貴久 (帝京科学大・理工・アニマルサイエンス)
「アカハライモリ (*Cynops pyrrhogaster*) の繁殖地での利用場所と移動距離の雌雄差」
- P13 ○長谷和子 (東大院・総合文化)・二河成男 (放大・教養)・嶋田正和 (東大院・総合文化)
「首都圏に分布する日本産ヒキガエルの遺伝的多様性とその影響」

- P14 ○南部久男（富山科博）・福田保（富山南高校）・荒木克昌（ワイルドアイズ）
「野積川（富山県）におけるヒキガエル類の産卵場所（2010年）」
- P15 阿部道生・大沢哲也・川田太郎・○佐々木史江・篠塚理・奈良真由美・西川文敏・平川公子・福山欣司・布能雄二・松田久司・山口英臣（円海山カエル探偵団）
「円海山周辺域のヤマアカガエルとアズマヒキガエルの産卵状況」
- P16 ○庭野裕・中村有・若林恭史・竹澤真人・長谷川雅美（東邦大院・理・生物）
「房総丘陵におけるニホンアカガエルとヤマアカガエルの個体群動態」
- P17 ○丸山一子（藤沢市）・白田仁志・野田晴美（茅ヶ崎市）
「茅ヶ崎里山公園におけるニホンアカガエルの産卵場所選択」
- P18 ○小泉雄紀（広島大・院理・両生類研）・森淳（農村工学研究所）・三浦郁夫（広島大・院理・両生類研）
「ニホンアカガエルの新規色彩変異—体色と眼は正常だがメスの卵だけが白い—」
- P19 ○高井孝太郎（北大・環境）・田口勇輝（安佐動物公園）・東正剛（北大・環境）
「ミトコンドリア DNA, cyt B 領域を用いた、北海道内に分布するトノサマガエル移入集団の起源解析」
- P20 村上寛尚（岩大院・農）
「水田環境におけるトウキョウダルマガエル (*Rana porosa porosa*) の食性と食物選択性」
- P21 ○木田耕一（信大院・農学研究科）・大窪久美子（信大・農）・四方圭一郎（飯田市美博）・大石善隆（信大・農）
「伊那盆地の水田地域における絶滅危惧種ダルマガエルの食性に関する研究」
- P22 ○中川宗孝・竹内康・水野尚之・西森誉普（環境生物研究会）
「『城陽市生き物住民登録』に於ける両生・爬虫類の記録から—京都府希少野生生物・ダルマガエルの生息状況—」
- P23 伊藤邦夫（川崎医科大学附属高）
「岡山県におけるダルマガエルのためのビオトープの状況」
- P24 ○芦澤航・大澤啓志（日大・生物資源）
「河川上流部におけるツチガエルの産卵場所選択」
- P25 岩井紀子（森林総研・鳥獣）
「5本目の指の謎：オットンガエルの拇指の意義とは？」
- P26 ○佐藤寛之・富永篤（琉大・教育）
「ホルストガエル幼生による同種卵捕食の事例報告」
- P27 ○山本康仁・千賀裕太郎（東京農工大・農）
「都市近郊の平地水田におけるカエル類の生息状況と環境要因の関係」
- P28 ○武田智・片山直樹・宮下直（東大・農・生物多様性）
「水田環境におけるカエル類の空間分布の決定要因」
- P29 ○佐野誠・篠原正典（帝科大・理工・環境）
「山梨県上野原市におけるカエル類7種の繁殖期の食性に関する研究」
- P30 ○大澤啓志（日大・生物資源）・天白牧夫（日大・院・生物資源）
「木曾川流域平地水田のカエル相」

- P31 ○宇留間悠香・小林頼太・宮下直（東大・農・生物多様性）
「環境保全型農業が両生類の個体数に与える影響」
- P32 村上裕（愛媛中局産振課）
「知らない間にカエル保全是可能か？-中山間地域の水田耕作に伴う農作業がカエル類に与える影響-」
- P33 ○Aram Jeong, Hae-Jun Baek, Hyo-Jin Yang (CGRB, Res. Inst. Vet. Sci., Col. Vet. Med., Seoul Natl. Univ.), Young-Min Ko (Jeju Girls High Sch.), Hang Lee, Mi-Sook Min (CCGRB, Res. Inst. Vet. Sci., Col. Vet. Med., Seoul Natl. Univ.)
「Circumstances of chytridiomycosis in South Korea and predicted disease susceptibility analysis based on antimicrobial peptide from Korean amphibians」
- P34 ○永井靖弘（いであ（株））・斎藤和久（神奈川県環境科学センター）
「音声録音装置によるカエル類の把握及び自動判別音声解析ソフトの開発」
- P35 ○松井久実・西田智美（麻布大・獣医・生理1）
「カエル用人工餌給餌器の開発」
- P36 ○竹内美里（兵庫県立大・環境人間）・太田英利（兵庫県立大・自然研）
「ミトコンドリア DNA から見た東アジアにおけるチュウゴクスッポン(*Pelodiscus sinensis*)種群の遺伝的多様性」
- P37 小賀野大一（市原高）
「九十九里浜平野の淡水性カメ類」
- P38 小林頼太（東大・農・生物多様性）
「野生化した外来カメ類の成長速度：在来カメ類との比較」
- P39 伊原禎雄（奥羽大）
「阿武隈川中流域におけるカミツキガメ繁殖の可能性」
- P40 ○青柳育夫（佐野高校）・亀田健太・橋本悟志・奥山亮・小松原祥平・亀山涼・影山隊士・須藤貴久・太田陸・江原風雅・上原巧・小林匠・岡孝征・矢ヶ崎琢（佐野高校・生物部）
「三杉川（栃木県佐野市）におけるクサガメとミシシippアカミミガメの行動圏について」
- P41 ○西堀智子（和亀）・亀崎直樹（須磨水）・矢部隆（愛知学泉大）
「大阪府大正川におけるアカミミガメ駆除活動によるカメ種組成の変化」
- P42 ○優谷真理（東大・農・生圏システム）・亀崎直樹（日ウミガメ協/東大・農・生圏システム）
「日本近海に生息するアカウミガメとアオウミガメのサメ咬傷について」
- P43 ○薮優子（兵庫県立大・環境人間）・江崎保男・太田英利（兵庫県立大・自然研）
「西日本に生息するヤモリ属2種の繁殖と食性について」
- P44 城野哲平（京大・理・動物行動）
「Gekko 属ヤモリにおける鳴き声の種間比較」
- P45 ○Min-Ho Chang (Jeju Natl. Univ.), Jae-Young Song (Natl. Park Res. Inst.), Kyo-Soung Koo, Jae-Young Hong, Mun-Joo Kim, Hong-Shik Oh (Jeju Natl. Univ.)
「Sexual size dimorphism in four species of lizard from Korea」
- P46 ○Il-Hoon Kim, Ja-Kyung Kim, Bin-Na Kim (Dept. Biol. Sci., Kangwon Natl. Univ.), Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.)
「Habitat Characteristics and Movements of the Mongolian Racerunner (*Eremias argus*)」

- P47 ○土金慧子・宮下直（東大・農・生物多様性）
「ニホンカナヘビの生息適地としての棚田景観の評価」
- P48 Jung-Hyun Lee, ○Dae-In Kim, Suk-Bum Kim (Dept. Biol. Sci., Kangwon Natl. Univ.), Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.)
「Home Range and Use of Microhabitat of the Amur Rat snake (*Elaphe schrenckii*)」
- P49 ○Jung-Hyun Lee (Dept. Biol. Sci., Kangwon Natl. Univ.), Seo Jin Lee (CGRB, Res. Inst. Vet. Sci., Col. Vet. Med., Seoul Natl. Univ.), Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.), Mi-Sook Min (CGRB, Res. Inst. Vet. Sci., Col. Vet. Med., Seoul Natl. Univ.)
「Morphological characteristics and genetic diversity of Korean Rat snake (*Elaphe schrenckii*)」
- P50 細将貴（東北大・生命科学・進化生態科学）
「右利きのヘビ」
- P51 児島庸介（京大・理・動物行動）
「ヤマカガシの環境利用」
- P52 Suk-Bum Kim, Jung-Hyun Lee, ○Bin-Na Kim, Nam-Yong Ra (Dept. Biol. Sci., Kangwon Natl. Univ.), Daesik Park (Div. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ.)
「Five-Year Monitoring of Herpetofauna in Woraksan National Park in Korea」

大会参加者名簿

(アルファベット順, ○は懇親会参加, 演者としての発表の講演番号のみを記載)

- | | | |
|------------------------|---------------------|--------------------|
| ○秋道 優真 | ○伊藤 邦夫, P23 | ○前田 憲男 |
| ○秋田 喜憲 | ○岩井 紀子, P25 | ○丸山 一子, P17 |
| ○秋山 繁治, 2A05 | ○Jeong, Aram, P33 | ○間曾 左智子 |
| ○青木 玄, 2A04 | ○ジョンソン ティモシー | ○松尾 公則 |
| 青木 政臣 | ○城野 哲平, P44 | ○松井 久実, P35 |
| 青柳 育夫, P40 | ○鶏内 博之, P10 | ○松井 正文, 基調, 1A03 |
| ○荒井 寛, 2A06 | ○懸川 雅市 | ○松木 崇司, 2A03 |
| 荒尾 智哉 | 垣本 英臣 | ○Min, Mi-Sook, P02 |
| 芦澤 航, P24 | ○亀崎 直樹, 1B04 | ○見澤 康充, 1A09 |
| ○Baek, Hae-jun, P01 | ○金井 賢一郎 | 水戸 直, P09 |
| ○Bauer, Aaron M., 2B03 | ○菅野 一輝 | 光岡 佳納子, 1A11 |
| ○張 東君, 2A11 | 木田 耕一, P21 | ○三浦 郁夫, 2A07 |
| ○Chang, Min-Ho, P45 | ○菊川 信人, 2B07 | ○宮崎 ますみ |
| ○戎谷 秀雄 | Kim, Bin-Na, P52 | ○水野 雄介 |
| ○遠藤 聡子 | Kim, Dae-In, P48 | ○森 哲, 1B06 |
| ○江頭 幸士郎, S02 | ○金 香星 | ○森口 一 |
| ○藤田 宏之, P08 | Kim, Il-Hoon, P46 | ○森田 悦朗 |
| ○藤谷 武史 | 木村 有紀 | ○村上 寛尚, P20 |
| ○ゴリス リチャード | 桐生 大輔 | ○村上 裕, P32 |
| ○後藤 康人 | ○岸田 拓士, 1B07 | 永井 靖弘, P34 |
| ○ハミディ アミール, 1A02 | ○小林 頼太, P38 | ○長井 悠佳里, 1A06 |
| ○原 幸治 | ○小林 聡, 1A07 | 永美 暢久 |
| 長谷 和子, P13 | ○小泉 有希, 2B08 | ○中川 宗孝, P22 |
| ○長谷川 巖, S03 | ○小泉 雄紀, P18 | ○中村 壘 |
| ○林 光武 | ○児島 庸介, P51 | 中村 泰之, 2B06 |
| ○林 聡彦 | ○小巻 翔平, 1A05 | ○中澤 隆太 |
| ○疋田 努, 2A10 | ○近藤 めぐみ | ○南部 久男, P14 |
| ○広瀬 文男 | ○Korsós, Zoltán | ○西堀 智子, P41 |
| ○福山 欣司 | ○小菅 康弘 | ○西川 完途, 2A01 |
| ○細 将貴, P50 | 倉石 典広, 1A01 | ○庭野 裕, P16 |
| 五十嵐 崇裕 | ○栗田 和紀, 2B09 | 野田 晴美 |
| ○猪狩 千恵 | ○栗田 隆気, 2B02 | ○小賀野 大一, P37 |
| ○伊原 禎雄, P39 | ○栗山 武夫, 2B10 | ○尾形 光昭, 1A04 |
| ○インドラスアリ, カリナ, 2B05 | ○草野 保, P07 | ○Oh, Hong-Shik |
| ○石原 孝, 1B02 | Lee, Jung-Hyun, P49 | ○大淵 希郷 |

- 岡本 慶, 1B01
○岡本 卓, 2B11
 沖 浩志
○奥平 智博, P12
○大村 文乃
○大澤 啓志, P30
○太田 英利, 1B09
○太田 宏, P05
 Park, Daesik, P03
○坂 雅宏, 2A09
○佐野 誠, P29
 佐々木 史江, P15
○佐藤 寛之, P26
○佐藤 直樹
○佐藤 享
○佐藤 孝則
○千石 正一
○柴田 倫太郎
○島田 知彦, 1A10
○白田 仁志
○薮 優子, P43
- Song, Jae-Young
○鈴木 大, S04
○多田 哲子, 1B03
○田上 正隆, P11
○高橋 亮雄, S01
○高井 孝太郎, P19
 武田 智, P28
○武石 全慈, 2A08
○竹中 踐
○竹内 美里, P36
○田中 幸治, 1B10
○田中-上野 寛子
○Tandavanitj, Nontivich, 2B04
○谷口 真理, 1B05
 天白 牧夫, P06
○照井 滋晴, P04
○戸田 守, 2B01
○戸田 光彦
○戸金 大
 富樫 忠志
○徳田 龍弘
- 富岡 克寛
○鳥羽 通久, 1B08
 土金 慧子, P47
○都筑 明美
○Tu, Ming-Chung
○植田 健仁
 宇留間 悠香, P31
○Vogt, Scott
 渡辺 伸一
○矢部 隆
○八木 愛
○山本 康仁, P27
○山崎 陽平, 1B11
○安川 雄一郎
 安森 盟文
○米島 諒, 1A08
○吉川 夏彦, 2A02
○吉村 雅子
○吉村 友里
○湯本 光子
○優谷 真理, P42